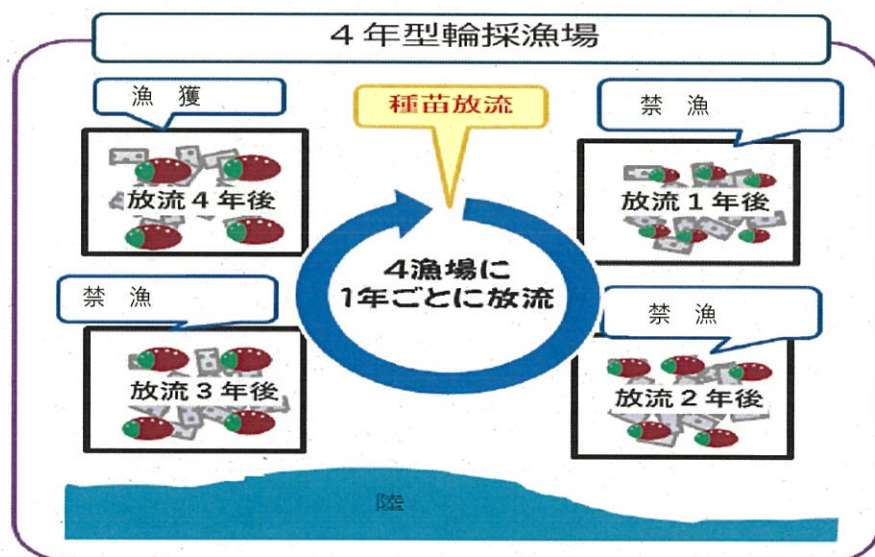
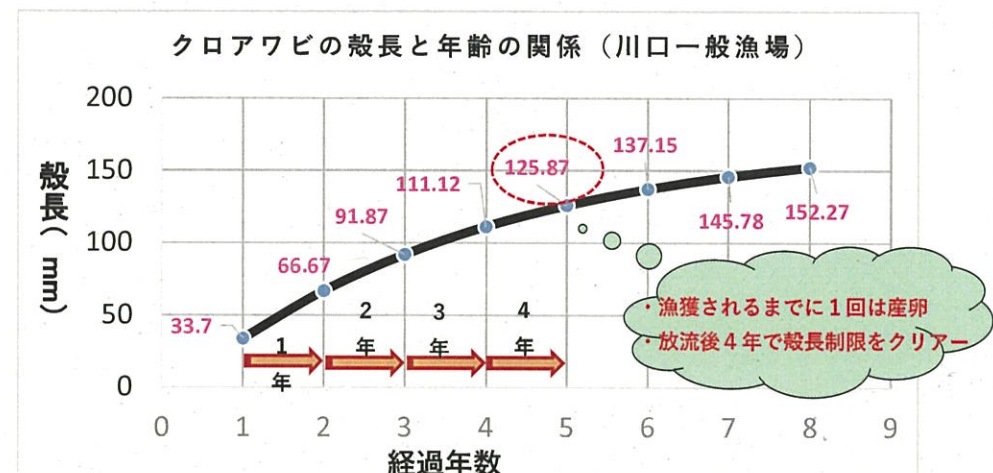


令和元年度 アワビ4年型輪採漁場整備事業 初年度整備箇所(南房総市白浜 島崎第1区)の取上げ結果について

令和元年度水産振興審議会資料
(館山水産事務所)

1. アワビ4年型輪採漁場とは、



【目的】
4年型輪採漁場を整備し、より単価の高い大型アワビの漁獲による収益の増加や、輪採漁場内で育成したアワビの産卵機会を増やし、天然資源の増加を図る。

- 【漁場整備】**
- 平成27年度から整備を開始。
 - これまでに3市町に12地区22箇所の漁場整備を実施。
 - 1漁場に平板約1,500枚を投入し、アワビの住場を造成。
 - 1漁場にアワビ種苗を15,000個から20,000個放流。
 - 4年後の回収率12%を目指す。

県のアワビ漁業振興の中核的な施策

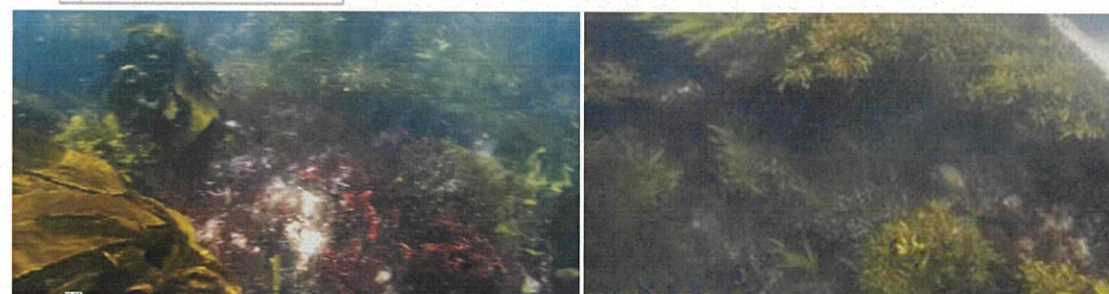
2. 初年度整備箇所(南房総市白浜 島崎第1区)の状況

①漁場の位置



【ポイント】
○潮通しの良い浅場が適当。(水深6m以下が良い)
当該漁場の水深は満潮時で3~3.5m

②餌料環境



【ポイント】
○アラメ、モク類(オオバモク等)などの大型海藻類が繁茂しており、テングサ等の下草類も見られるなど、餌料環境は良好である。

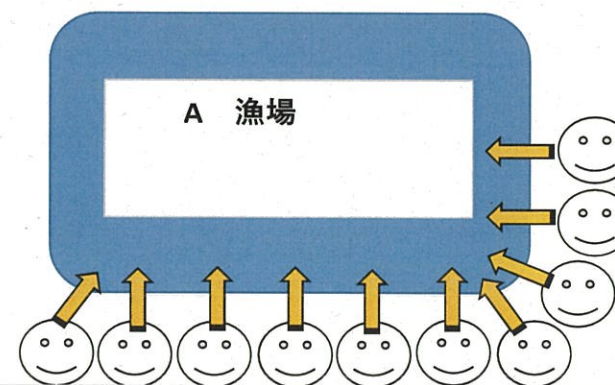
③管理する海士の人数



当該漁場の管理人数は5~6人



【ポイント】
○管理する海士の人数は10名以上が適当。
(2~3人程度の少人数では管理が出来ず弊害が発生)



3. 取上げ(漁獲)結果

④放流から4年目(正確には3年6か月)



【取上げ結果】
○クロアワビ : 181.0kg (平均殻長128.3mm)
メガイアワビ : 97.3kg (平均殻長127.6mm) の合計 278.3kgであった。(3,235千円)
なお、漁場内には取り残した貝(成貝)が100kg程度、寸足らず(未成貝)が100~150kg程度残存。

【ポイント】
○漁場内の貝は残らず漁獲。(未成貝は一般漁場に放流 → 翌年、海士が漁獲できる)
○残存貝は、新しい種苗と餌の競合。→ 成長不良

4. 評価(回収率)

	種苗放流時個数(個体)	取上個数(個体)		取り残し(個体)		※推定生残個数(個体)
		漁獲	成貝	成貝	未成貝	
クロ	18,817	599	215	452	1,266	
メガイ	3,172	343	123	292	758	
合計	21,989	942	338	744	2,024	

○ $2,024 \div 21,989 \times 100 = 9.2\%$
目標の12%には届かなかったが、目標に近い成果が得られたものと考えられる。
※: 推定生残個体は、9.2以降、海況が悪く漁期が終了したため、取り残し個体も回収したものと推定して計算。